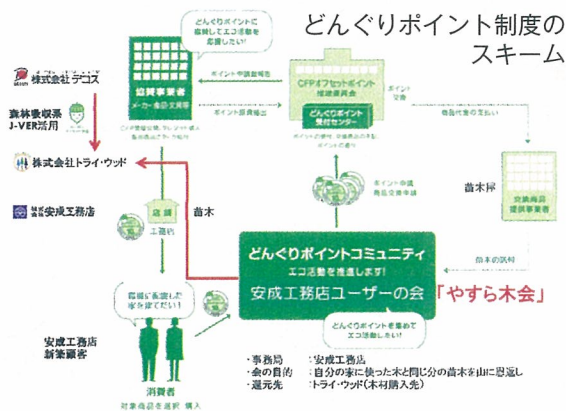


# 『 新 建 ハ ウ ジ ン グ 』 平成 26 年 3 月 20 日 (木)

## 「どんぐりポイント」で森林に恩返し

### 安成工務店+デコス ユーザーの会がエコ活動



安成工務店(山口県下関市、安成信次社長)とセルロースファイバー断熱材のデコス(同)は2月、地球温暖化防止に貢献する製品流通のしくみ「どんぐりポイント制度」に建築業界で初めて参加した。CO<sub>2</sub>排出量をオフ

セットしてゼロにした商品・サービスにポイントを付けて消費者に表示し、購入・利用を促す制度。ポイントは商店会やPTAなどのコミュニティが収集し、それを環境にやさしい商品に交換したり、エコ活動などに

寄付する。消費者はポイント付きの商品を購入・利用することで、エコ活動を行うコミュニティを間接的に支援することになる。

安成工務店では、1(2月に上棟する新築物件で使用する断熱材「デコスファイバー」のCFP(カーボンフットプリント※1)値をもとに全量カーボン・オフセット(※2)を実施。「実質排出ゼロカーボン断熱材」としたうえで建て主にどんぐりポイントを付与した。

ポイントは安成工務店のOBコミュニティ「やすら木会」が収集し、申請すると新築時に使用した構造材と同数のスギの苗木に還元され、大分県日田市の木材事業者である

トライ・ウッドの植樹活動に寄付される。カーボン・オフセットに際しては、トライ・ウッドの森林整備活動を通じて創出されたJ-VERクレジットを使用。クレジット購入代金の一部は九州7県で実施している「九州版エコライフポイント制度」の還元ポイントの原資として活用されている。

同社ではクレジット購入と植林のふたつの方法で林産地に「恩返し」「持続可能な森林のサポーター」としての取り組みを強化している。

※1 商品の一生で排出されるCO<sub>2</sub>量を表示する仕組み

※2 日常生活や経済活動でどうしても排出してしまうCO<sub>2</sub>を、他の場所で行われるCO<sub>2</sub>削減活動に投資することで埋め合わせる考え方